



こうべ子どもにこにこ会ニュース

巻頭言

～輪・和・話～

—同じ人間、みんなで手をつなごう— 神戸市立本庄小学校 安藤 祐吉

神戸市は、市の最高理念である「新・神戸市基本構想」の中で、「ともに築く人間尊重のまち」を 2025 年に向けた都市像の一つとしてかかげています。今、私たちの目の前にいる子どもたちがその担い手となるのです。

昨今、いじめや虐待により自ら命を絶ったり、愛されるべき家族から命を奪われたりと、一人の人間の尊い命が、何よりも大切にされるべき命が軽んじられている出来事が多数起きています。

また、世界に目を向けると、世界各地で民族紛争が起きており、多くの尊い命を同じ人間が奪い合う悲しい現実があります。世界の人々が、相手の立場に立って、人の心の中を想像できれば、生まれや肌の色が違ってもお互いに理解しあい、少しの勇気をつなぎ合わせることができれば、このような痛ましい出来事は防げたはずです。

近年は工業技術も急激な進歩を遂げ、世の中は、便利になりましたが、心を持たないネットが社会の中心となって人と人をつないでいるため、人間関係が希薄になり見えにくくなってきています。だからこそ、子どもたち同士の心と心の関わりを大切に日々の教育活動を進めていくことが大切になってきます。そこには対立や争いも生まれてきます。しかし、そこを通り抜けなければ理解も深まりませんし、思いやりも、支え合いも、勇気も生まれてきません。

私たち教師は一人の子どもも自分の手からこぼさず、一人一人にきちんと寄り添って日々進んでいくことを基本にして、子どもたちを繋ぎ、人を大切にできる集団をつくる営みを通して、子どもたちの命を輝かせなければなりません。その中で、子どもたちは様々な生活環境にあり、教師には見えないものをたくさん背負っています。そんな子どもたちをきちんと理解すること、自身の人権感覚を振り返ること、そこを出発点に教科指導、学年や学級の活動、行事を通して人として必要な力を育てる、そんな人権教育の営みがすべての教育活動の中で根付い

ていくことを願っています。

本庄小学校の人権教育の原点は、差別と排除、貧困や孤立を強いられている人々の側に立って、人権教育の進化と充実を図ってきました。しかし、近年、格差と貧困問題が深刻化する中で社会的マイノリティや社会的弱者への人権侵害行為が多発しています。そして、コロナ差別。同じ日本人、在日外国人に対しての差別的な言動。同じ人間として恥ずかしさを感じます。あるユダヤ人の集会での言葉です。

「無関心は歴史の風化を進行させ、過ちを繰り返す」
無関心は人として大切な感性を薄れさせ、判断力を弱め、目の前の出来事に対して人間としての当たり前の言動が取れなくなる状況を生み出します。

本庄小学校では、ペルー、中国、フィリピン、バングラデシュ、ブラジル、パラグアイ、ネパールにルーツを持つ子どもたちが 23 人います。彼らが、日本という国で安心して過ごし、持てる力を発揮して夢を実現してくれることを願い、こうべ子どもにこにこ会をはじめ、神戸市教育委員会のかたがたの力を借り、JSL教室（日本語教室）、子ども多文化共生サポーターの方々、日本の文化、日本語、学習環境に一日も早くなじめるように力を注いでいただいています。毎週の教室活動と日々の学習の営みが、外国にルーツを持つ子どもたちの理解を深め、輪を二倍にも三倍にも広げ、和を大切にすることを育て、話でいっぱい楽しい仲間をつくっていくことでしょう。未来を担う子どもたちが命を輝かせ、人とのつながり、一人ひとりの人間が安心して生きていける世の中をつかっていけるように、そして、外国にルーツを持つ彼らが日本との懸け橋となり、さらに大きな和と話でいっぱい、輪で世界を包み愛情と温もりでいっぱい、世の中を育めるようにみんなの手で、大切に育てていきたいと思っています。

活動レポート



放課後日本語・教科学習支援教室の取り組み

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の為に活動場所の本庄地域福祉センターが休館、学校の休校、それに併せて当会の活動も4月・5月は自粛し休みにしました。6月から感染対策に手洗い、手指消毒、マスクの着用、机、いすを毎回消毒、ソーシャルディスタンス 3蜜にならないよう徹底し、活動を再開することができました。子どもたちは元気いっぱい楽しく学べる居場所として、毎週木曜・土曜日の教室に来てくれています。休み期間中の遅れを取り戻そうと私たちも子どもたちも頑張っています。



スペイン語母語教室の取り組み

いつもスペイン語母語教室にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。今年度は長いお休み期間がありましたが、母語教室を再開することができ、大変うれしく思っています。今までの遅れを取り戻すために、みんなで一生懸命に頑張っています。また、新型コロナウイルス感染防止のために、マスク着用とアルコール消毒を徹底しています。ご質問、ご相談等ございましたら、いつでもご連絡ください。





ミニ

多文化フェスティバル 深江 で NIKONIKO カフェを出店しました

こんな時こそ、祭が必要！ キープディスタンスで、安全に楽しく過ごしましょう。

と、地域の方がた、来場者の皆さんにご協力、お願いをしながら開催をすることができました。

子どもたちの母国の手作りお菓子の販売をしました。



小学校 J S L 教室ニュース

令和2年度の JSL 教室は、新型コロナウイルスの影響で6月からの開講となりました。

本庄小学校 20 名、東灘小学校 10 名の元気な子どもたちに会えた時の喜びは忘れられません。

まずは5月に配布した JSL 教室からの宿題とクイズの答え合わせをし、それから本庄小学校では、昨年度中止になってしまった学習発表会を行いました。例年のように外部のお客様や保護者をご招待することはできませんでしたが、校長先生や教頭先生が参観してくださり、子どもたちの発表を一緒に楽しみ、健闘をたたえてくれました。お客様がいない分、子どもたちからの発言（質問や感想）が活発になり、子どもの視点の斬新さ、奥深さに驚かされました。より子ども主体の発表会になり、目標である「主体的な学びの場」に近づけたことが大きな収穫でした。

それ以外にも、今年度の学習内容には変化が感じられます。教科学習支援と作文の割合が増えています。教科学習支援が増えた理由として、学校の先生方との連携が以前より強くなったことがあります。JSL 教室で教科学習をし、自信を持って学級での学習に取り組むというスタイルが徐々にできつつあるという感触を持っています。また、作文を書く子どもが増えたことには、支援員の支援技術の向上があるのではないかと勝手な自己評価をしています。支援員と対話することによって、子どもの中にある題材を引き出し、それを書き、発表したり（校長先生や教頭先生に聞いていただくことも）、文集にまとめていったりする活動が日常化してきています。

3 学期には例年通り学習発表会を予定していますが、今回もきっと子どもたちの個性やパワー炸裂の素敵な会になることでしょう。





掲示板



● **会員になって私たちの活動を
支えてください。**

● *正会員【年会費 5000円】 個人
総会での議決権がある会員です。

● *サポーター会員【年会費 10000円】
個人10人以上・法人100人以上
経済的な支援を頂く賛助会員です。

● ※寄付も大歓迎です♪

● 郵便振替 00900-4-251298
こうべ子どもにこにこ会
● (同封の振込用紙をご利用ください) ●

★会員の皆さま、ご寄付くださった皆さま、ご支援ありがとうございます！！

皆さまのご支援により、にこにこ会の活動は成り立っています。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、備品、絵本等も有志の皆さんからいただいています。厚く御礼申し上げます。

＜正会員・サポーター会員の皆様＞（順不同・敬称略）

延原臣二 北村広美 大岡栄美 乾美紀 酒井滋子 武田文 高木香織 鈴木真由美
橘直人 中嶋孝幸 田中康夫 前原ゆき子 松尾真理子

★2020年度に助成・ご協力いただいた団体 ありがとうございます！！

(公財)兵庫県国際交流協会、神戸まちづくり六甲アイランド基金、(公財)コープともしびボランティア振興財団、
関西日英協会



日本語・教科支援ボランティア募集

それぞれの子どもの学習能力やニーズに対応し、主に日本語（国語）・数学（算数）・
英語の学習を1対1でサポートしています。原則として日本語でサポートを行います
ので、外国語能力・経験等は不問です。やる気のある方歓迎です。

☆活動時間：木・土 16：00～18：00 ☆活動場所：本庄地域福祉センター

※ボランティア オリエンテーション（要予約）に参加してみませんか？

オリエンテーション担当 松下 までお気軽にお問い合わせください。

問合せ先：078-453-7440

Email：kobekodomo_nikonikokai@yahoo.co.jp



こうべ子どもにこにこ会

〒658-0022 神戸市東灘区深江南町4-12-20-201

TEL・FAX 078-453-7440

Email kobekodomo_nikonikokai@yahoo.co.jp

URL <http://nikoniko.qee.jp/> (☞「こうべ子どもにこにこ会」で検索！)

